

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施]

R4 学校教育自己診断の回答より ※年度 (%) … (生徒回答)

問 2. 授業はわかりやすく工夫されている。

R2 (77) R3 (78) R4 (75)

(R4 三者比較) 生徒 (75) 保護者 (52) 教員 (88)

※「オープンクラス」による教員間での授業見学や研究協議の機会が増加し、授業内容のレベルアップにつながっている。継続していく。保護者が授業を見学する機会等についても検討の必要あり。

問 6. 将来の進路や生き方について、学んだり考えたりする機会がある。

R2 (84) R3 (86) R4 (83)

(R4 三者比較) 生徒 (83) 保護者 (87) 教員 (82)

※1年生からのきめ細やかな進路指導が実現しつつある。一部の教員、分掌のみが進路指導を担うのではなく、学校全体で取り組む必要がある。

問 8. 学校の決まりやルールを守っている。

R2 (92) R3 (91) R4 (95)

(R4 三者比較) 生徒 (95) 保護者 (64) 教員 (9)

※生徒一人ひとりの自覚もあるが、教員はルールを守らせる立場にあり、ぶれのない指導体制の積み上げが課題である。

問 11. 先生や学校は、いじめにしっかり対応してくれる。

R2 (82) R3 (86) R4 (84)

(R4 三者比較) 生徒 (84) 保護者 (82) 教員 (91)

※いじめ対策チームによる啓発からいじめに対する教員間での共通理解が深まり、どの学年でも即時対応できるようになった。

問 12. 悩みや相談に応じてくれる先生がいる。

R2 (71) R3 (77) R4 (77)

(R4 三者比較) 生徒 (77) 保護者 (84) 教員 (91)

※生徒からの相談にはていねいに対応できている。気づきと情報共有、教員から生徒へのさらなる声掛けが課題である。

問 14. クラブ活動や生徒会活動は活発だ。

R2 (69) R3 (70) R4 (62)

(R4 三者比較) 生徒 (62) 保護者 (39) 教員 (3)

※クラブ活動への加入人数は少ないが、加入者自身の満足度は高い。加入人数の関係で三者比較に大きな差が出ている。生徒にとって、魅力とやりがいのある部活動づくりを支援していきたい。

問 16. 校内はきれいな状態である。

R2 (60) R3 (68) R4 (49)

(R4 三者比較) 生徒 (49) 保護者 (65) 教員 (30)

※清掃指導が学年やクラスによって差異が生じている。教職員・生徒一体となった体制づくりが課題である。

問 24. 福泉高校では、生徒指導において、家庭との連携ができています。

(R4 二者比較) 保護者 (73) 教員 (84)

※些細なことでも家庭との連携を密にすることによって、生徒一人ひとりに応じた指導を行っている。